

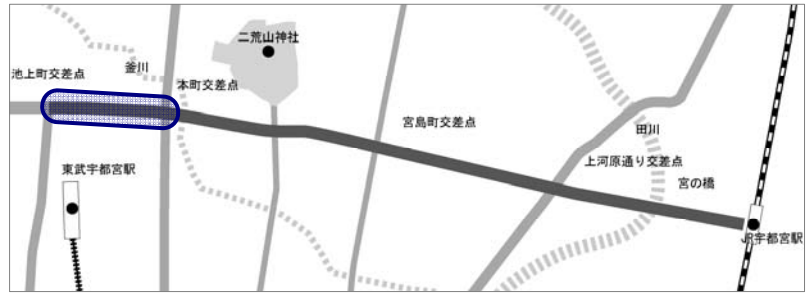
4. 池上町地区

■ 区間

本町交差点～池上町交差点

■ 組織

池上町商店街、池上町自治会、西連合会自治会



景観特性

- 中高層の事務所建築物と中低層部の店舗が混在する商業地景観が展開します。
- 二荒山神社、東武宇都宮駅周辺の宇都宮市の中心商業地景観の一部を構成します。
- 地域組織が検討し、アーケードを撤去するとともに、明るい景観を創出しています。



中高層の業務ビルと低層の商業店舗が混在する景観



アーケードが連なる旧来の商業地景観



ホテルや事務所が建ち並び業務地景観



アーケード撤去前の池上通り



アーケード撤去後の池上通り



アーケードを撤去し、街路整備を行った、明るい馬車道通りの景観

良好な景観づくりに向けた課題（地区別部会時での地域住民からの指摘事項）

大通り全体の景観づくりの目標に加え、

【良い点を伸ばす】

- ・ 商業店舗が連続する商店街景観を保全します。
- ・ 古き良き時代をしのばせる要素を有する小規模店舗景観を保全します。
- ・ 伝統的な屋台の諫鼓鶏、半纏の「イケビシ印」の、地域独自のデザインを活用します。

【改善する】

- ・ 老朽化が進むアーケードを撤去し、明るく、訪れたい商業地景観を形成します。
- ・ ユニバーサルデザイン※を採用し、誰もが訪れやすい景観を形成します。

※) ユニバーサルデザイン：年齢や性別の違い、障がいの有無などにかかわらず、多くの人々が利用可能であるようなデザイン

■ 将来目標像 ■

懐かしさと温もりを感じる街・池上通り

「イケビシ」印の半纏を身にまとい、諫鼓鶏を飾った屋台を引っ張った良き時代を訪ね、新しい池上通りの街並みを形成します。

■ 景観づくりの目標 ■

1 明るく歩きやすい歩行空間を形成します。

- ①老朽化アーケードを、統一デザインのオーニングに代替します。
- ②店先に緑を育みます。
- ③照明を活用し、明るい夜間景観を形成します。
- ④パブリックアート*を配置します。

※) パブリックアート：公共的空間に常設する美術作品。

2 古き良き時代をしのばせる要素を新しい感覚で表現します。

- ①ファサード*にレトロ調デザインを採用します。
- ②ヒューマンスケール*を導入します。
- ③暖かみのある色彩を採用します。
- ④魅力的な看板・広告物デザインを採用します。

※) ファサード：建築物の正面の外観。

※) ヒューマンスケール：人間的な尺度。人間が活動するのにふさわしい空間の規模。

3 大谷石など地場の素材と地元の技術を活用します。

- ①大谷石など自然風合の外装材を採用します。
- ②大谷石素材のストリートファニチャー*を設置します。

※) ストリートファニチャー：街路や広場などに置かれる、ベンチ・案内板などの屋外装置。

4 誰もが快適に過せるユニバーサルデザインを導入します

- ①店舗等の出入口においてユニバーサルデザインを導入します。

■ 景観づくりの目標イメージ ■



現状



1-① 老朽化アーケードを、統一デザインのオーニングに代替します。

1-② 店先に緑を育みます。

2-① ファサードにレトロ調デザインを採用します。

2-③ 暖かみのある色彩を採用します。



将来の景観像イメージ

2-① 安全で歩きやすい歩行空間の創出します。
歩道の高質化(舗装、緑化、照明、バス停等)を図ります。

□ : 宮の橋地区の景観づくりの目標関連 □ : 大通り全体の景観づくりの目標関連

1 明るく歩きやすい歩行空間を形成します。

【景観づくりの考え方】

老朽化したアーケードを撤去し、明るく、みどり豊かなうるおいのある歩行空間を形成します。また、照明を活用し、明るい夜間景観を創出します。

【景観づくりの具体方策】

①老朽アーケードを、統一デザインのオーニングで代替します。

- ・老朽アーケードを撤去し、同じ形態のオーニングテントを設置します。
- ・テントの色彩は各個店のテーマカラーとし、明るくカラフルなイメージを演出します。
- ・アーケード撤去後は、街路樹の連続性を確保します。



老朽アーケードを撤去し、庇機能をオーニングテントで代替するとともに、街路樹を植栽するイメージ

②店先に緑を育みます。

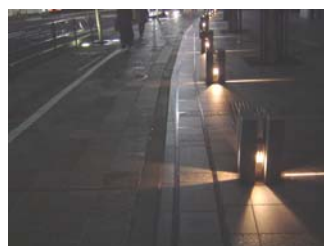
- ・店頭部分にフラワーポットやガーデンチェアなどを飾り、四季を感じさせる、うるおいのある景観を形成します。



地域に育まれる花や緑のうるおいのある景観*1

③照明を活用し、明るい夜間景観を形成します。

- ・歩行空間の照明を充実し、明るい夜間景観を形成します。
- ・店舗の照明が外に漏れ、夜間も明るい景観を形成します。



フットライトイメージ



店舗内照明による明るい夜間景観イメージ

④パブリックアートを配置します。

- ・大谷石、諫鼓鶏、妖精、水など池上通りのイメージに合ったパブリックアートを歩道の余裕のある空間やビルの前などに設置します。



イケビシ印*1



諫鼓鶏*1

2 古き良き時代をしのばせる要素を新しい感覚で表現します。

【景観づくりの考え方】

建築物の低層部は、ファサードにレトロ調のデザインを採用するとともに、暖かみのある色彩とし、古き良き時代をしのばせる、にぎわい景観を創出します。

【景観づくりの具体方策】

①ファサードにレトロ調デザインを採用します。

- ・「懐かしさ」の要素をファサードデザインに取り入れます。
- ・ペジメント（入口の庇）、ボーダー（見切縁）、コーニス（屋根飾り）、アールや三角形の屋根、石積風目地切り、レトロ調看板などをできるだけ導入します。



レトロ調デザインの店舗ファサード*1



和モダンデザイン
ファサード



レトロ調デザインファ
サード

②ヒューマンスケールを導入します。

- ・屋根や開口部の形状に人が馴染みやすい尺度を出る限り使用します。
- ・ビル化した建物では、1～3階の低層階のヒューマンスケール化を進めていきます。



歩行者を誘う低層部のファサード



低層部をヒューマンスケール
としている中高層建築物

③暖かみのある色彩を採用します。

- ・外壁等の面積が大きい部分の色彩は、暖色系を基本色とし、マンセル値で色相R～Y R系を採用します。
- ・中高層ビルに関しては、中高層部分は出来る限り明るい色を使用し、圧迫感を和らげます。



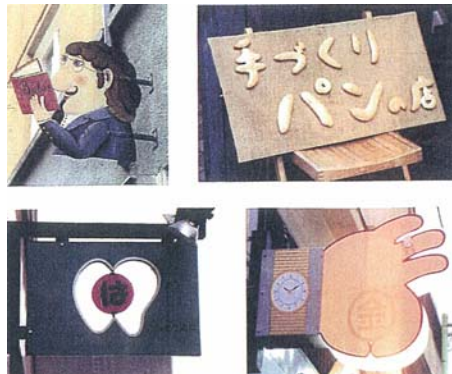
圧迫感を和らげる色彩の中高層部の景観



暖色系の色彩

④魅力的な看板・広告物デザインの採用します。

- ・懐かしさを感じさせるレトロ調のロゴを使用など、魅力的な看板を設置します。



レトロ調のロゴを使用している魅力的な看板 * 1

3 大谷石など地場の素材と地元の技術を活用します。

【景観づくりの考え方】

建築物の外装やストリートファニチャーに大谷石などの地場の素材を活用し、地元の技術により、宇都宮らしい景観を形成します。

【景観づくりの具体方策】

①大谷石など自然風合の外装材を採用します。

- ・大谷石を外壁材、店前の床、オブジェなどに使用します。
- ・砂岩風合いの塗装材など自然素材を感じさせる素材を用います。



中高層建築物の低層部の外壁素材への大谷石の採用(市内レストラン)

大谷石の採用例

②大谷石素材のストリートファニチャーを設置します。

- ・ベンチ、案内サイン類、ポラード（クルマ止め）などのストリートファニチャーに出来るだけ県特産品の大谷石を取入れます。



大谷石（植枘）



通り名称表示サイン



ベンチなどストリートファニチャーへの大谷石の採用*1

4 誰もが快適に過ごせるユニバーサルデザインを導入します。

【景観づくりの考え方】

歩道や店舗の出入口等、多くの人々が利用する個所においてユニバーサルデザインを導入し、誰もが快適に過ごせる景観を形成します。

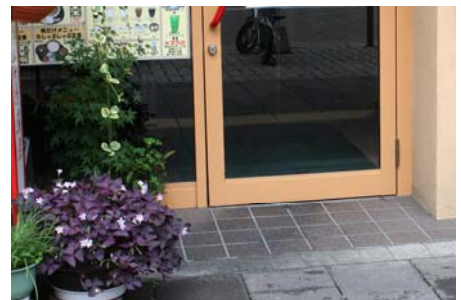
【景観づくりの具体方策】

①店舗等の出入口にユニバーサルデザインを導入します。

- ・店舗の出入口は段差を無くし、自動ドアなど車椅子使用者や高齢者、子供、荷物を持った人など誰もが入りやすい構造とします。



バリアフリー歩行空間イメージ*1



歩道から段差無く入店できる、入口部分のユニバーサルデザイン

*1) 出典：「池上通り商店街景観形成計画報告書」（池上通り商店街振興組合、H20.3）

1 明るく歩きやすい歩行空間を形成します。

① 老朽化アーケードを、統一デザインのオーニングに代替します。

- ◆老朽アーケード機能の代替
- ◆街路樹の連続性の確保



2 店先に緑を育みます。

- ◆四季を感じさせる緑、花の育成



3 照明を活用し、明るい夜間景観を形成します。

- ◆歩行空間の照明の充実



4 パブリックアートを配置します。

- ◆大谷石、諫鼓鶏等、池上地区のイメージをモチーフとするパブリックアート



3 大谷石など地場の素材と地元の技術を活用します。

① 大谷石など自然風合の外装材を採用します。

- ◆外装材への大谷石の採用



② 大谷石素材のストリートファニチャーを設置します。

- ◆大谷石のベンチ等の設置



4 誰もが快適に過せるユニバーサルデザインを導入します。

① 店舗等の出入口においてユニバーサルデザインを導入します。

- ◆出入口の段差解消等ユニバーサルデザインの採用



2 古き良き時代をしのばせる要素を新しい感覚で表現します。

① ファサードにレトロ調デザインを採用します。

- ◆「懐かしさ」を感じるデザインの採用



② ヒューマンスケールを導入します。

- ◆低層部における人が馴染みやすいスケールのデザインの採用



③ 暖かみのある色彩を採用します。

- ◆低層部は暖色系の色彩採用
- ◆中高層部は落ち着いた色彩採用



④ 魅力的な看板・広告物デザインを採用します。

- ◆懐かしさを感じるレトロ調等、魅力的なデザインの採用



*1) 出典：「池上通り商店街景観形成計画報告書」(池上通り商店街振興組合、H20.3)

